



# 「CMをつくろう！ ～Green Powersを世の中に広めよう～」

授業案：東京学芸大学附属世田谷小学校 沼田晶弘教諭

<b>対象</b>	小学校高学年	<b>科目・単元名</b>	総合学習
<b>時間</b>	2時間	<b>目標</b>	再生可能エネルギーについての正しい認識をつくるためには、その取り組みの現状や可能性、他のエネルギーとの比較といった理解が重要です。「他者に伝えるために理解する」というCM作りのプロセスを通して、子供たちの再生可能エネルギーへのより深い関心を喚起します。
<b>参考資料</b>	グリーンパワーブック		

<b>期待できる学習効果</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ Green PowerキャラクターのCM作りで、表現力を高める。</li><li>・ 聞いてもらう人のことを意識しながら伝える力を育成。</li><li>・ 活動を進めるうちに、日本のエネルギー事情、再生可能エネルギーに関心をもつ。</li></ul>

<b>授業内容</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>1 子供たちが意欲的に活動に取り組めるように「電気がなくなったらどうする？」という発問から日本のエネルギー事情を考えさせます。</li><li>2 今の日本のエネルギー自給率や火力発電中心の現状、火力発電の仕組みを簡単に説明し、石油や温暖化の問題について話します。</li><li>3 身の回りにある再生可能エネルギーについて話し合い、グリーンパワーキャラクターの5人（サンちゃん、風子、ミズリン、ばいおん、ちね蔵）を紹介しながら、それらの発電のメリット・デメリットを伝えます。聞き手にどう伝わるかを強く意識しながら、グリーンパワーキャラクターのCMを作るように、こどもたちに伝えます。</li></ol> <p>授業のポイント☆子どもたちに人に話しを聞いてもらうための「トーク術」を教えます</p> <p>トーク術の極意</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 表情やうなずき、話すテンポや呼吸など、相手とタイミングを合わせること</li><li>・ 発表中にジェスチャーを交えたり立ち位置を変えるなどの動きをつけること</li><li>・ 具体例を挙げて話すこと</li><li>・ 聞く人の立場に立って、どんな方法でプレゼンテーションすればよいか考えること</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>4 自分の好きなグリーンパワーキャラクターを決めて、各チーム30秒、みんなの前で発表します。（発表は歌でも踊りでも寸劇でもOK）</li><li>5 最後にそれぞれの班の発表を聞いて、どんな発表の方法がよかったかみんなです振り返ります。</li></ol>



# 「CMをつくろう！ ～Green Powersを世の中に広めよう～」

授業案：東京学芸大学附属世田谷小学校 沼田晶弘教諭

## 授業の成果と課題

- ・何を発表するかを考え、友だちと話し合い、自然と再生可能エネルギーに興味をもった。
- ・授業終了後に「あ、あんなところにソーラーパネルがある」と、教室から指差す子がいるように、今まで気にしなかった再生可能エネルギーの施設や、エネルギーの大切さに気付くようになった。
- ・再生可能エネルギーのことを知識として詰め込もうとせず、興味を持たせるための最低限の情報を伝えること。
- ・CMづくりに先立って伝えることは「子どもたちの未来にこそ必要なエネルギー」ということにポイントを置く。
- ・地域によって再生可能エネルギーによる発電の取り組み状況に違いがあることを考慮しながら、5つの発電方法を理解させる必要がある。